

令和8年1月 斐伊川水系水質情報

令和8年1月(宍道湖16日・中海6日採水)						単位:mg/l(Chl-a: μg/l)			
項目	層	S-3(宍道湖湖心)		N-6(中海湖心)		米子湾中央部			
COD	全層	3.4	△ やや低い	2.6	○ 良好	3.5	△	平年並み	
全窒素	上層	0.68	☆ かなり高い	0.44	△ 平年並み	0.51	△	平年並み	
全リン	上層	0.043	△ 平年並み	0.027	○ 良好(平年並み)	0.030	○	良好(平年並み)	
Chl-a	上層	11	△ 平年並み	7.4	△ 平年並み	6.4	△	平年並み	
塩化物イオン	上層	3,770	△ 平年並み	11,400	△ 平年並み	8,200	△	平年並み	
	下層	3,990	△ 平年並み	16,800	△ 平年並み	10,900	△	平年並み	
溶存酸素	上層	12.7	やや高い	10.8	平年並み	12.0		平年並み	
	下層	12.7	やや高い	5.8	平年並み	6.8		平年並み	

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.8	下降	3.4	下降	4.4	やや下降
全窒素	上層	0.47	上昇	0.34	上昇	0.44	横ばい
全リン	上層	0.030	やや上昇	0.040	下降	0.048	やや下降

宍道湖の透明度は1.7mから1.8mと横ばいで、平年並み。中海の透明度は2.0mから1.9mと横ばいで、平年並み。米子湾の透明度は1.7mから2.3mと上昇し、良好となっている。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

	↑	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の3倍	↑	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値の2倍	↑	×	<やや高い>
平均値+標準偏差値 10年間平均値 平均値-標準偏差値	↑	△	<平年並み> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	↓	○	<良好> ただし、環境基準値を下回らない場合は△で<やや低い>とする。 <やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	↓	◎	<かなり良好> <かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注)平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ 68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ 95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ 99.7%